



Le mani toccano il mondo 手でふれてみる世界

2023

7/8[±]

13:30-16:30

映画『手でふれてみる世界』上映会 + クロストーク
「ふれる」がひらくインクルーシブな学びの可能性

参加費：無料

定員：150名

会場：明治学院大学
白金キャンパス
1101 教室

お申込：下記のQRコードより受付

※プログラム、アクセス等詳細も下記からご覧いただけます。



登壇者

岡野晃子

映画「手でふれてみる世界」監督
ヴァンジ彫刻庭園美術館副館長

大内 進

国立特別支援教育総合研究所名誉所員

茂木一司

跡見学園女子大学

ユニバーサル字幕
音声ガイドで
ご鑑賞いただけます

映画『手でふれてみる世界』は、イタリア・マルケ州アンコーナにあるオメロ触覚美術館の創設者で全盲のアルド・グラッシニ、ダニエラ・ポッテゴニ夫妻を中心に展開するドキュメンタリー映画です。「視覚優位」の活動から解放された美術館における活動は、インクルーシブな学びの環境デザインにどのような可能性をもたらすのでしょうか。岡野晃子監督、アントネッロ・ムーラ 著『イタリアのフルインクルーシブ教育—障害児の学校を無くした教育の歴史・課題・理念』監督者の大内 進氏、『視覚障害のためのインクルーシブアート学習』編著者の茂木一司氏によるクロストークで掘り下げていきます。

作品情報

| | |
|-------|--------------------|
| 制作年 | 2022年 |
| 監督・撮影 | 岡野晃子 |
| 編集 | 早川嗣 (ボレボレタイムス社) |
| 字幕翻訳 | 朝岡直芽 |
| 音楽 | 阿部海太郎、仲野麻紀/ヤン・ピタール |

主催：美術科教育学会インクルーシブ美術教育研究部会

共催：基盤 (B)「視覚障害及び同重複障害児者が主体的に学ぶインクルーシブ・メディアアート教材開発」

基盤 (B)「特別支援学校在学中と卒業後を接続するアートベース・プログラムの開発と構築」



MEIJI GAKUIN UNIVERSITY
明治学院大学